



# 東京蜘蛛談話会例会総会

2017年5月7日 東京環境工科専門学校にて



参加者一同

(1) ウズグモの餌種  
とラッピング

初芝伸吾・石井智陽・  
寺内優美子・池田博明



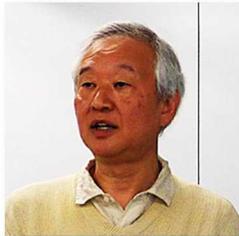
(2) 夢の島のクモ、  
歴史の浅い人工的緑  
地から見えるもの

安藤昭久



(3) 「橋糸はワク糸  
にならない」が「こし  
き糸は足場糸になる」

新海 明



(4) 佐渡島クモ類調  
査

谷川明男・宮下 直



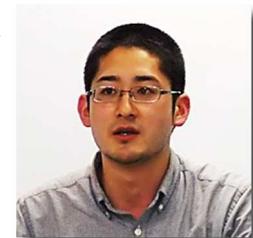
(5) ハモンヒメグモ  
とリュウキュウヒメ  
グモ

谷川明男



(6) じゃじゃ馬を攻  
略せよ

須黒達巳



(7) クモの話題 3  
つ：1) ミャンマーの  
クモ；2) コタナグモ  
追録；3) イトグモの  
原産地 小野展嗣



(8) オガタモリヒメ  
グモの網構造と採餌  
行動について

鈴木佑弥



入退会は：

事務局 初芝伸吾 〒186-0002 東京都国立市東 3-10-8  
コンフィデンス高垣 105 有限会社エコシス  
E-mail : hatsushiba-ecosys@h8.dion.ne.jp

KISHIDAIA 原稿投稿先：

谷川明男 〒横浜市栄区小菅ヶ谷 1-4-2-1416  
E-mail : dp7a-tnkw@j.asahi-net.or.jp  
池田博明 〒258-0018 足柄上郡大井町金手 1099  
E-mail : fwgd9084@mb.infoweb.ne.jp  
キンダイアの原稿締め切りは、6 月末日と 12 月末日です。

通信原稿投稿先：

谷川明男 〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 1-4-2-1416  
E-mail : dp7a-tnkw@j.asahi-net.or.jp  
通信の原稿締め切りは、4 月末、8 月末、12 月末です。

東京蜘蛛談話会の会費は、一般 2000 円、学生 1000 円です。

(会計状況の好転により、**2015 年度分より当分の間、会費を値下げし、  
年会費を一般会員 2000 円、学生会員 1000 円とします。**)

郵便振替口座 00170-8-74885 東京蜘蛛談話会へお願いします。

会費のことは：

会計担当 須黒達巳  
〒150-0013 渋谷区恵比寿 2-35-1 慶應義塾幼稚舎  
TEL : 080-5683-2765 E-mail: t.s.schlegelii@gmail.com

## 2016 年度決算

東京蜘蛛談話会

## 収入の部

2017 年 5 月 7 日

項 目	決算額(¥)	備 考
1.会費	339,000	欄外 1
内訳 a.16 年度会費	65,900	
b.17 年度以降前納会費	256,400	
c.15 年度以前未納分会費	16,700	
2.寄付	1000	
3.雑収入	495,720	トタテグモ調査報酬
4.別刷り代	22,173	
5.利息	212	
6.クモ基本 60 売上	149,326	
収入合計	1,007,431	
6.繰越金		
(1)15 年度以前 前納会費	400,100	
内訳 a.16 年度分	290,700	
b.17 年度分	46,400	
c.18 年度分	34,400	
d.19~24 年度分	28,600	
(2)特別会計 (プール金)	2,438,572	
繰越金合計	2,838,672	
合計	3,846,103	

## 支出の部

項 目	決算額(¥)	備 考
1.会誌作成	392,384	109,110 号
2.会誌発送	33,046	
3.別刷り作成・発送	22,173	
4.談話会通信	83,499	147,148,149 号
5.事務局等通信費	47,990	
6.事務用品等	50,000	基本 60 改訂謝金
8.予備費	0	
支出合計	629,092	
9.繰越金		
(1)14 年度以降の前納会費	365,800	
内訳 a.17 年度分	246,000	
b.18 年度分	67,800	
c.19 年度分	27,200	
d.20~24 年度分	24,800	
(2)特別会計 (プール金)	2,851,211	
繰越金合計	3,217,011	
合計	3,846,103	

繰越金の預け先：郵便貯金（普通）	¥1,197,966
振替口座	¥1,999,999
現金	¥19,046
合計	¥3,217,011

欄外 1：16 年度会費は、前納分 290,700 円とあわせて 360,600 円受領しました。

以上、報告いたします。2017 年 4 月 1 日 会計 須黒達巳

適切に会計処理されています。2017 年 4 月 30 日 会計監査 梅林 力

## 2017 年度予算

東京蜘蛛談話会  
2017 年 5 月 7 日

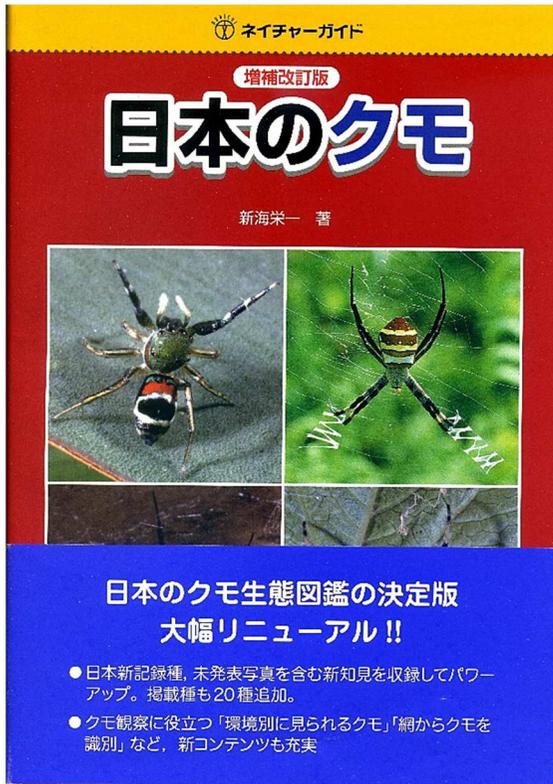
## 収入の部

項 目	金 額(¥)	備 考
1. 17 年度会費	420,000	2,000 円×96 人+1,900 円×20 人
内訳 a.16 年度会費前納分	246,000	+1,000 円×16 人
b.16 年度納入予定分	174,000	2,000 円×77 人+1,000 円×20 人
2. クモ基本 60 売上	15,000	1,000 円*15 冊
2. 寄付	0	
3. 雑収入	0	
4. 別刷り代	50,000	
5. 利息	500	
収入合計	485,500	
6. 繰越金		
(1)15 年度以降の前納会費	119,800	
内訳 a.18 年度分	67,800	
b.19 年度分	27,200	
c.20~24 年度分	24,800	
(2)特別会計 (プール金)	2,851,211	
繰越金合計	2,971,011	
合計	3,456,511	

## 支出の部

項 目	金 額(¥)	備 考
1. 会誌作成	500,000	250,000 円×2 回 (111,112 号)
2. 会誌発送	35,000	
3. 別刷り作成・発送	50,000	
4. 談話会通信	90,000	30,000 円×3 回 (150,151,152)
5. 事務費・通信費	30,000	欄外 1
6. トタテグモ類調査報酬	395,720	欄外 2
7. 事務用品等	10,000	
8. 総会・例会	20,000	10,000 円×2 回
9. クモ基本 60	5,400	発送費
10. 予備費	10,000	
支出合計	1,146,120	
10. 繰越金		
(1)18 年度以降の前納会費	119,800	
内訳 a.18 年度分	67,800	
b.19 年度分	27,200	
c.20~24 年度分	24,800	
(2)特別会計 (プール金)	2,190,591	
繰越金合計	2,310,391	
合計	3,456,511	

欄外 1: 事務局 5,000 円, 編集 5,000 円×2 人, 通信 6,500 円, 会計 5,000 円  
通信費, 振込手数料等 3,500 円欄外 2: 昨年度, 会が調査を受託, 495,720 円の報酬を受け取り, 調査実施者へ未払い  
2016 年度会員動向2016 年 4 月 1 日時点の会員数 217 名 (入会 13 名, 退会 1 名)  
2017 年 4 月 1 日現在の会員数 229 名 (一般 193 名, 学生 36 名)



## 新刊紹介

ネイチャーガイド  
日本のクモ 増補改訂版  
408p ISBN 978-4-8299-8405-5  
5,940 円（本体 5,500 円＋8%税）  
文一総合出版

## 京都だより（6）金福寺，芭蕉庵の紅葉

新海 明

2015 年の晩秋，久しぶりに洛北にある金福寺を訪れた。京都の名だたる景勝地のなかでもここは私の心のなかに残る一二を争う場所だ。

初めてこの地を訪れたのは，今から三十余年も前になる。当時は衣笠にあった立命館大学の理工学部で行われていた京都クモゼミに参加するために，その前日に入京し名勝旧跡を一カ所だけ尋ねることに決めていた。当時，私はすでに教員となっていたが，京都を訪れたのは中学の修学旅行，1970 年の大阪万博のついで，そして 1982 年のクモ学会大会の折になど三回ほどしかなかった。せっかく毎月（！）のようにクモゼミに通うのだから京巡りもせねば損だと考えたのだ。新幹線代は馬鹿にならなかったが，宿泊費は不要だった。吉田真さん宅が定宿となったからだ。そして，吉田宅が修学院にあったことが，私が洛北方面に詳しくなった理由でもある。

関東ならばめったに出会えないオダカグモやアワセグモは、すべて吉田宅の近傍の神社や山道で見たものである。アワセグモなどに至っては吉田さんの裏手にある鷲森神社で懐中電灯を借りて夜間観察までさせてもらった。

一乗寺でバスを降りて緩やかな坂道を詩仙堂へと向かう。その途上にあの決闘で有名な一乗寺下がり松がある。その先を右に折れる。閑静な住宅地の間に続く小路をジグザグに少し進めば、左手に小さな石級が見える。この階段の上にある小さな古刹が金福寺だ。堂宇の前の庭を巻くように小路が裏山へと続く。ここを上に進ると木々の間に京都市街が展望できる。そこに句碑がぶら下げられていた。「行く春や、京をひと目の、墓どころ」。ここ金福寺からの情景を詠んだものであった。傍らには与謝蕪村のお墓があった。そして、彼が敬愛してやまない松尾芭蕉を偲んで建てた芭蕉庵も佇んでいる。晩秋の芭蕉庵は紅葉の絨毯に囲まれ、小春日の優しい風がはらはらと赤や黄色の枯れ葉を散らせていた。

堂内に上ると、蕪村筆の天橋立の鳥瞰図が掲示されてある。縁側からお庭を見渡すと、さして広くない庭園が、墓どころの裏山の樹々と青空を捲き込み雄大な寺院のお庭にも見える。先人の庭園造りの知恵に感服した。

京都は私のような年配者にとっては「若者にとってのディズニーワールドにも匹敵する」。いつもこんな子供じみた感想を抱えて新幹線に乗る。京都は古きものと新しきものがいつの時代でも混在していたようだ。京の名だたる寺院を巡ったあとで京都の駅ビルに戻り、ともすれば京都には不釣り合いにも見えるあの雄大な構内の空間を見まわし、さらに駅前にそびえる京都タワーを見上げると、必ずこのような感想に打たれるのだ。

洛北の小さな寺院にも脈々と連なる歴史があり、今へと続いていた。そんなお寺に出合うたびに、他にもそんな名勝旧跡が古の都にはいくつも隠れているに違いないと思うのだ。そして、そんな小さな発見と感動の数々が、私を何度も京都への旅へと向かわせる原動力になっているに相違ない。



『クモ基本 60』改訂オンライン版は以下の URL からダウンロードできます。

<http://spider.art.coocan.jp/index.html>

初版の誤りを修正しました。

スマートフォンやモバイル PC でも利用できます。

午後に

加藤康子

ほのほのと  
風が吹いて  
川端の木立の陰に  
類まれな美しさで結ばれた  
糸の渦が  
まわっている  
見えかくれしながら  
うねうねと  
とりとめもなく ふるえ  
逆廻しの歌のように  
いつまでも 解けない謎の  
呪文のようにも . . . .

